

第18回 歴史文化をめぐる地域連携協議会

地域歴史遺産を

未来に

つなぐために

— 阪神・淡路大震災と、

地域の取り組みから考える —



写真：「大丸神戸店前の歩道にて 1995 年 2 月 16 日」大木本美通氏撮影

日時

2020 年 2 月 2 日 (日) 11:00 ~ 17:00

会場

神戸大学瀧川記念学術交流会館

申込方法

参加無料 事前申込制 (定員 70 名)

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターホームページ
(<http://www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/>)
フォームよりお申込みください

申込締切 2020 年 1 月 27 日 (月)

お問合せ

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター
〒 657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1
TEL&FAX 078-803-5566
E-mail area-c@lit.kobe-u.ac.jp
URL <http://www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/>



主催 神戸大学大学院人文学研究科、同地域連携センター

共催 兵庫県教育委員会、COC+ひょうご神戸プラットフォーム協議会、科学研究費特別推進研究「地域歴史資料学を機軸とした災害列島における地域存続のための地域歴史文化の創成」研究グループ、大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 (基盤機関：国立歴史民俗博物館)

【アクセス】

阪急電鉄「六甲」駅、JR「六甲道」駅、阪神電鉄「御影」駅から市バス 36 系統「鶴甲団地」行乗車「神大文理農学部前」下車

《開催趣旨》

1995年1月17日、兵庫県南部地震の発生により引き起こされた阪神・淡路大震災から今年で25年を迎えます。地震や火災によって引き起こされた被害は、人や建物にとどまらず、地域に残された歴史資料にも及びました。この時はじまった被災資料の救出活動を契機として、2002年、人文学研究科地域連携センターは発足しました。

震災によって新たな資料も生まれました。震災関連の公文書、地震発生時を指す時計、被災地を写した写真などの、いわゆる震災資料です。こうした資料の保全活動は25年の歳月を経てなお、継続して行われています。また聞き取りを通じて、発災時の様子や復興の取り組みなど、人々の記憶を記録する活動も行われています。

この間、街の復興は進んできました。その一方で震災を通して生まれた記憶や記録を、どのように後世に伝えていくかが課題となっています。

また災害時ほど急激でないにせよ、近年、日本の諸地域でも地域の記憶や記録の継承が困難となる状況が発生しています。兵庫県下においても過疎化や少子高齢化により、地域の歴史資料を引き継ぐことができない、伝統

芸能を継承できないといった地域が数多く存在します。こうした事例は、山間部の過疎地域にとどまらず、都市部近郊のいわゆる“オールドニュータウン”でも起こっています。

同様の問題を抱える地域は、今後も増えていくと予想されます。地域に残された歴史遺産を次の世代に引き継ぐことが容易でなくなりつつある今日、誰が、どのように、これらを守り、受け継いでいくのが課題となっています。

今年度の協議会では、こうした状況を踏まえつつ、阪神・淡路大震災以降の25年間の取り組みや、地域の歴史を後世に引き継いでいくための香美町・香寺町での活動を取り上げ、地域歴史遺産をよりよい形で未来につないでいくための方策について、皆様と議論していきたいと思えます。

本年、文学部は創立70周年を迎えますが、本センターは地域と連携した教育・研究において重要な役割を担ってきました。私たちはこの協議会自体が、参加者の間でつながりが生み出される場となることを願っています。多数のご参加をお待ちしております。

プログラム

- 11:00 開会挨拶 品田 裕 (神戸大学理事 / 副学長)
11:05 主催者挨拶・趣旨説明 奥村 弘 (神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター長)

□第1部 活動報告

- 11:20 活動報告① 内田 雅夫 ([神戸市] 住吉歴史資料館)
「住吉歴史資料館の活動—変質するだんじり祭を見て25年前の震災復興を思う—」
11:40 活動報告② 河野 克人 ([丹波篠山市] 丹波篠山市立中央公民館)
「地域のお宝をどうすればよいか—地元に残る古文書を題材として—」
12:00 質疑応答
12:10 昼食・交流会

□第2部 協議会「地域歴史遺産を未来につなぐために—阪神・淡路大震災と地域の取り組みから考える—」

- 13:10 問題提起 井上 舞 (神戸大学大学院人文学研究科)
13:15 報告① 佐々木 和子 (神戸大学地域連携推進室)
「阪神・淡路大震災を残すために」
13:40 報告② 吉川 圭太 (神戸大学大学院人文学研究科)
「阪神・淡路大震災の記憶を歴史としてつなぐために」
14:05 休憩
14:15 報告③ 石松 崇 (香美町教育委員会)
「地域の記憶をつなぐために—香美町無住化集落の場合—」
14:40 報告④ 大槻 守 (香寺町史研究室)
「地域の歴史を伝える—中学校と連携して—」
15:05 コメント 白水 智 (中央学院大学 / 地域史料保全有志の会)
15:30 休憩・交流会

□第3部 全体討論 (～17:00 終了)

- 15:50 討論 司会：奥村 弘

□情報交換会

- 17:30～19:30 (瀧川記念学術交流会館1階食堂 / 会費制)